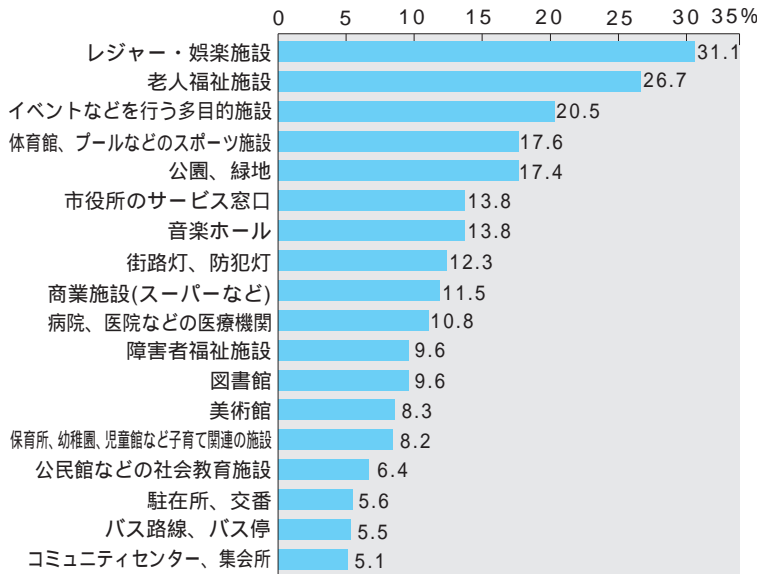


第9次秋田市総合計画の策定に向けて まちづくり市民アンケート



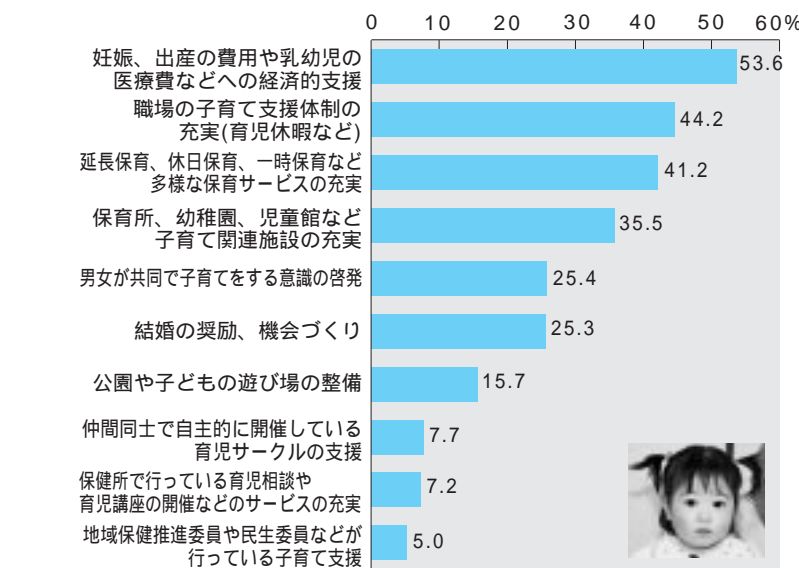
「レジャー・娯楽施設」が31・1%。身近な場所にこだわらず、市内のどこかにもっとほしい施設としては、「レジャー・娯楽施設」が最も多く三二・一%、次いで「老人福祉施設」「イベントなどを行う多目的施設」「体育館、プールなどのスポーツ施設」の順。年代別に見ると、若い世代では、「レジャー・娯楽施設」を二十歳代六二・八%、三十歳代五五・五%と半数以上の人が希望しています。これに対し五十歳代より上では年代が高くなるにつれ「老人福祉施設」を希望する人が多くなっています。

欲しい公共施設は？
(複数回答 (三つ以内))



「郷土料理」「お祭り・イベント」が上位。県外の人に紹介したい秋田市の魅力や特徴は、「郷土料理」が四三・五%、「お祭り・イベント」が四三・一%と、味と祭りが四割以上。次いで「自然環境」が三八・六%となっており、秋田市の恵まれた豊かな自然に対し愛着を持っていることがうかがえます。以下、「日本酒」二八・〇%、「人情」一八・二%という順。男女別にみると、それぞれの一押しは男性が「自然環境」、女性は「郷土料理」と、感じている魅力にちょっとした違いがあります。

秋田市の魅力は？
(複数回答 (三つ以内))



経済支援、保育環境の整備を期待。子どもの数が年々減ってきている少子化現象。その対策としては、「妊娠、出産の費用や乳幼児の医療費などへの経済的支援」が五三・六%で最も高い割合となっています。次いで、「職場の子育て支援体制の充実(育児休暇など)」が四四・二%、「延長保育、休日保育、一時保育など多様な保育サービスの充実」が四一・二%の順。経済支援、保育環境の整備など子育てに直接かわる事項が上位を占めています。

少子化対策は？
(複数回答 (三つ以内))